

小學普通科第三讀本

平井正編  
本居豐穎閱

館藏委員會	
一	6
三號	8
六册	64
一	五
架	函

檢定合格本

K110.82
70a
3

本居豐穎閣  
平井正編

小學普通科第二讀本

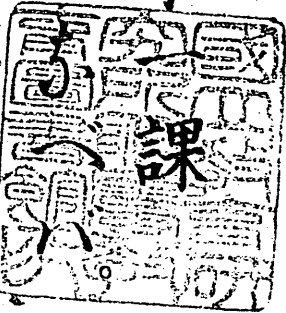
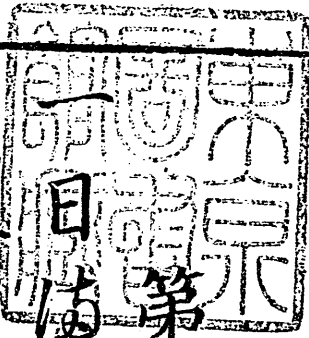
東京書肆

二書房



№12750

小學普通科第三讀本



本居豐穎  
平井正編



一日のいきり。一日學がなれば。一日れそ  
人あり。つきひのたつは。早し。  
日月ハ。我ためよ止まらむ。

小學普通科

第三讀本

一

若きこよ。小學ぶべし。老いて  
後ち小多のし三何里。

學マカリ 早ハヤ 若ワカ 止トドマ

第二課

前小山何里。雪いまだとあは。  
遠くのぢぢ免バ。白雲の如し。  
後小海あり。舟おほく何法ま



る。遙小ながむき  
バ。木葉よ似たり。  
山下よ雪なたハ。  
峯よりあた、か  
まゆゑなり 舟  
此多く何法はる  
多。魚の多く集里

たるゆゑなり。

前後、雪、舟、遠トホキ、遙

海、白雲、木葉、峯

集ヒルリ

第三課

ガシ、ラヲナシテ、空ヲユク。  
マヘニ行ク鷹ハ、アトヨリ來

ル鷹ヲミチビケリ。見ヨ。後  
ヨリ來ルモノハ、前ニ行クモ  
ノ、コエヲキ、テ鳴キ。前ニ  
行クモノハ、後ヨリ來ルモノ、  
コエヲ聞キテナク。トホキヲ  
行ケドモ、列ヲハナレズ。

空、鷹、前後、鳴カクカ、聞カクカ

行列 ケケキ

第四課

大イナルイ又  
ト小ナルネコ  
トアリ 犬ハ夜  
ヲマモルユエ  
ニ人ニ愛セラル



猫ハネズミ

ヲトラフルユエニ人ニカハ  
ル。犬ニシテ夜ヲ守ラズ。猫  
ニシテネズミヲトラヘザレ  
バ。愛セラル、コトモナク。  
又。畜ハル、コトモナシ。

猫 ネコ 守 モル 愛 アヒ 畜 イク

第五課

庭ニ一本ノ梅ノ樹アリ。南ニ  
向キタル枝ハ早ク花咲キ。  
北ニ向キタル枝ハ遅ク花咲  
ク。何故ニ南ハ早ク北ハ遅キ  
ゾ。南ハ大陽ノ温ヲウケテ  
タカニ。北ハ温ヲ受クルコト。南ヨリ  
少シオクルレバナリ。

庭 梅 早クハ 遅クハ 咲クハ  
温 何故 大陽 受クハ

第六課

松の葉ハ青ク。柿の實ハ赤シ。  
鴉ハ黒ク。雪ハ白シ。山吹の  
花ハ黄フシテ。藤の花ハむら  
さきなリ。青、黄、赤、白、黒之を五



色といひ。また正  
色ともいふ。紫の  
赤と青と混じり  
たる色あり。

松の葉 柿の實  
鴉 山吹の花  
藤の花 青

黄 赤 白 黒 紫

第七課

地球ノ表面ニハ高低アリ。橙  
ノ實ノ面ノ如シ。低キ部分ニ  
水アリ。海。ミヅウミ。イケ。川ナド、  
名ヅク。水上ニ出デタル部分ヲ。  
陸ト名ヅケ。大イナルモノヲ。



大陸ト曰ヒ。小ナルモノヲ島ト曰フ。陸地ノ平カナル所ハ平原ニシテ。其高キ所ハ山ナリ。我國ハ一ノ大島ト。三ノ島ト。無數ノ小島ヨリ成レリ。地球 表面 橙ノ實 面ノ如シ 部分 水上 陸

鳥 平原 其高 無數 第八課

机の上。本と手本とあり。本も手本も紙よてつくる。紙ハ。きまづぐの物よりはをれり。我國ふても。多く楮の皮より製はまきごも。西洋ふてハ。木綿

の屑より製せり。西洋の紙ハ。やぶきを遠く。

我國の紙を破れ易からば。

机本紙  
手本紙



西洋 楮の皮 木綿の屑

第九課

たんすハ。桐の木よて製し。  
はぐらゑ。竹をあ。紙ををる。  
簞笥。いふくをいれ。葛籠  
よ。やぐををさむ。桐を。かろく  
して。濕氣をふせぎ。竹いな

海くして、さき易し。

桐 竹 簞笥 葛籠

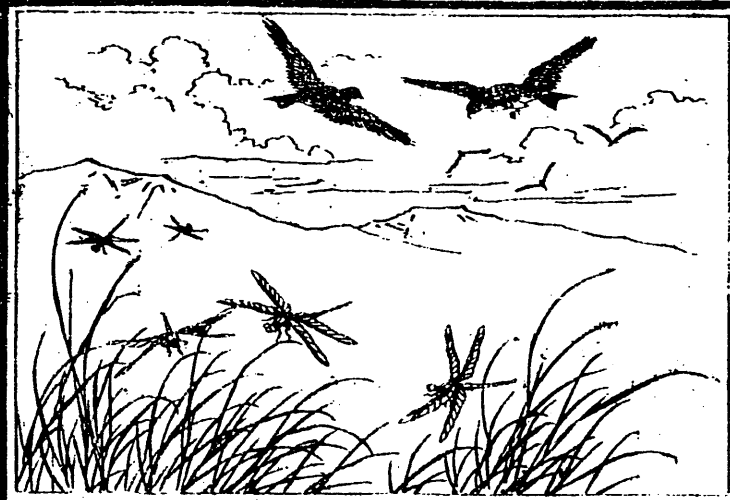
濕氣 編ム製ヒス

第十課

衣服ハ。時候ニヨリテ改ム。  
寒キトキハ。袷綿入ヲ用ヒ。  
暑キトキハ。單物帷子ヲ着ル。

衣服ハ。綿布ニテモ。清ケレ  
バ事足ルベシ。絹布ヲモチフ  
トモ。清カラザレバ。身ニ害アリ。

衣服 時候 改ム 寒暑  
袷 綿入 單物 帷子  
綿布 絹布 事足ル 着ル



第十一課

とびとむて多あ  
くあがり。さんぼ  
う飛びて。ひくき  
をゆく。蜻蛉は  
ねあまどもとり  
よあらず。鳶は

洗濯さあれどもむしよあ  
ら。虫のむしあ。よわくして  
鳥の洗濯さあれよし。

飛トビ 蜻蛉 鳶 虫 鳥

第十二課

水、油、酒、米、豆、麥ノ類ハ。枳ヲ  
用ヒテ量ルナリ。枳ハ木ニテ

作リ。口ハ方二寸一分深サ一  
寸四分七釐アルモノヲ。一合  
枳ト稱シ。十合ヲ一升ト曰ヒ。  
十升ヲ一斗ト曰ヒ。十斗ヲ一  
石ト曰フ。商業ヲイトナムニ  
ハ。枳目ヲ正クシ。品物ヲエ  
ラムベシ。

油 酒 米 豆 麥 枳  
量リ 口 合 升 斗 石  
商業 枳目 正ス 品物

第十三課

疾ク走ルトキハ。面ニフルハ  
モノアリ。是ハ空氣ト稱スル  
モノニシテ。アツク地球ノ表

面ヲ包メリ。形モミヘズ。色モナク。臭モナク。味モナケレドモ。此物ナクテハ。地上ノ生物ハ。此世ニ存スルヲ得ザルナリ。疾ク<sup>ハリ</sup>走ル<sup>ハ</sup>空氣表面。形色臭味。此物。此世生物存<sup>セズ</sup>。

第十四課

鶴ハ。長キ足ト。長キ嘴アリ。食ヲ求ムルトキハ。長キ足ニテ。水ヲ涉リ。水中ニ潜ム。魚



又ハ。蟲ヲカリ出シ。長キ嘴ヲ  
ノベテ。之ヲ捕フ。夜ハ。高キ樹  
ノ枝ニ宿リ。嘴ヲツバサノ間  
ニ。サシハサニテ眠ル。

鶴 足 涉 潜 捕  
樹ノ枝 宿 間 嘴 眠

第十五課

文字ノカキヅマニ。サマブ、ア  
レド。常ニ用フルヒノハ。楷  
行、草ノ三體ナリ。讀本トカク  
ヲ楷ト曰ヒ。讀本トカクヲ行  
ト曰ヒ。讀本トカクヲ草ト曰  
フ。貴キ人ニ上ル書又ハ願書  
等ハ楷行ノ中ニテ書クヲ宜シトス。

同輩ノ文通ニハ。概子草書ヲ用フルナリ。

文字 常 楷 行 草

尊キ人 願 屈 同輩 文通

第十六課

晴きたる日。海岸より出でて。  
遠小沖をふむまきハ。風志は  
あよして。波おたやかなり。

近く見ゆる船  
を動けども。  
遠を見ゆる船  
ハ止まるの如  
し。

晴日 海岸  
沖波 風





遠クキシ 近クキシ 見ル

第十七課

雨ハゲシクフレバ。川ノ水イ  
ヨノ増ス。雪シキリニ降レバ。  
寒キコトマスノ甚シ。川ニ  
水槽ス堤カタケレバ。其流レ出  
ルヲ防ギ。寒キコト甚シケレ

衣服ヲ重ネテ之ヲ禦ク。

雨 増マシ 降ル 寒ク 暑ク

堤 築ル 流ル 其 防グ

禦ル 重ク

第十八課

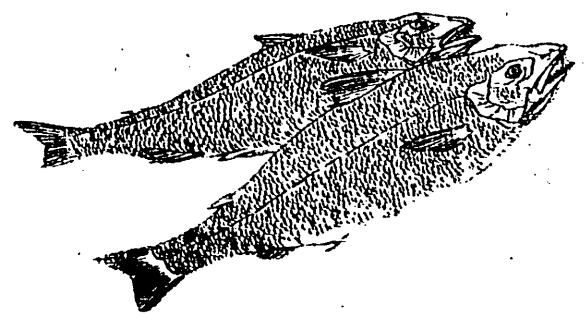
言ふことハ易ク。行ふことハ  
かたし。言人とてはるごとしハ。先

行ひて。後チ小言ふル魚シ。人を  
 せむるホと易く。人小責め  
 られざるハ難シ。己をかへり  
 きて。人を責むべし。

言フヒシ 行フヒシ 易ケクキシ 難ケクキシ 責ハ

第十九課

鮭ハ。河水ノ海ニ注ク所ニス



ナリ。秋ニ至リテ。  
 卵ヲウマントス  
 ルトキハ。遠ク河  
 ニサカノボル。卵  
 ヲ産ミ終レバ。流  
 レヲ下リテ。夕  
 タヒ海ニ入ル。魚

者ハ。此ノ上下スルトキニ捕  
フルナリ。産ミタル卵ハ。化生  
シテ。海ニ下リ。卵ヲ胎ムニ至  
レバ。亦上流ニ派リ來ル。

鮭 河水 注 卵 産  
ルリヲ ガガカ ハ  
終 漁者 此ノ 捕  
ルリヲ ハ  
上流 化生 胎 至  
ルリヲ ハ

亦 派

第二十課

桶小ニテたる者水ナリ。此の  
桶者井戸の側小あれば。此水  
ハ井戸此水亦味魚シ。井戸此  
水ハ淡くして。海此水者。志ほ  
からし。淡き水者。飲料となす

べく。海の水よりハ。志河をよる  
魚し。

桶 井戸 飲料

第二十一課

二人の童子あり。一人を善吉  
といひ。一人を貪ハと呼べり。  
一日はまたちて。遊歩せし



よ。路上よ一ツの金  
貨何里。貪ハた  
を拾ひて。むぢの  
小己のぬとこ  
よ納めたり。善  
吉之を止め。是ハ  
失なひし人の物

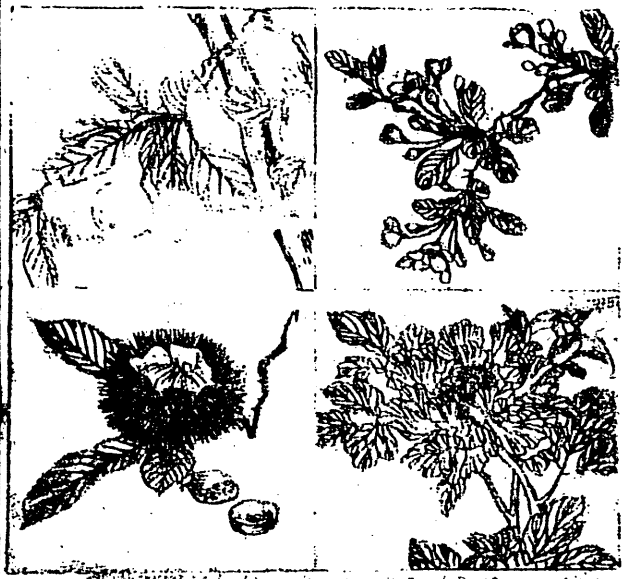
なり。最寄の警察署小届く  
盈しと言ひあれど。貪ハ眼を  
いからし。是ハ我物なり。若  
の知るところ。汝小何らばとい  
ひて。菓子など多く求め。己  
ひと里之哉食へり。  
此の童子の行ひ。い法を善

とし。いづれを悪とまるか。  
汝等も。心小之を知るべし。  
心小之哉知らば。善吉の行ひ  
を學べ。

遊歩 路上 金貨 拾  
納 止 失 最寄 警察署  
届 眼 善惡 汝等 心

第二十二課

茲ふ四ツの植物あり。花の咲たる。海棠と牡丹なり。實のつきたる。栗と林檎なり。海棠も。人々を



愛をまきども。唯花を見るのこ栗と林檎も。人々の實を好みども。花を称するものなし

牡丹 海棠 栗 林檎

美 實 結 愛 好

稱

第二十三課

松ノ類ニ。赤松。黒松アリ。赤松ハ。國內大抵之ヲ産ズ。木理ハ。密ニシテ堅ク。水ニツヨケレバ。船ニ造ルニヨシ。黒松ハ。温暖ノ地ヲ好ミ。寒地ノ深山ニハ。少ナシ。赤松ニ比スレバ。木理ハ。密ナラザレドモ。久ク朽

チザルノ性アレバ。家屋ヲ造リ。帆檣トナスニヨロシ。

大抵 木理 家屋 帆檣  
堅クキ 造ルリ 比ヒス 朽ツチ 性

第二十四課

水ハ。人ノ生命ヲタモツニ。要用ノモノナリ。井戸又ハ。地上ニ湧出

ル水ハ飲ムニヨロシ。清キモノヲ  
 エラビ。汲取ルヲ宜トス。河湖  
 ノ水ハ。スメルモノモ。汚物ヲ  
 混ズルモノ多クレバ。漉シテ  
 之ヲ飲ムベシ。

要用 湧出 地上 汲

取 湖 汚物 漉 飲

小學普通科第三讀本終

明治十八年五月十九日版  
 全 廿一年十月廿二日印刷訂正再版

定價十錢

閱者

愛知縣士族

本居 豐 穎

編者

東京府士族

平井 正

發行兼  
印刷人

全 平民

鈴木 吉 藏

全

埼玉縣平民

加藤 芳 太郎

製本兼  
發兌人

東京府平民

吉川 半 七

京橋區南傳馬町壹丁目十二番地  
 埼玉縣平民

